

組織的かつ継続的な特定行為の受講と修了者の活動を推進する取り組み

シンポジウム

特定行為研修修了者活用のために

特定研修機関としての取り組み

金沢医科大学病院

キャリア支援センター課長

北山未央

本学指定研修機関のあゆみ



石川県河北郡内灘町

病床数：817床

診療科数:29

看護師・助産師・保健師：862名

日本医療機能評価機構認定病院

2020年 特定行為研修 開始

- ・術中麻酔管理領域

2022年 特定行為区分 追加

- ・呼吸器(気道確保に係るもの)関連
- ・動脈血液ガス分析関連
- ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- ・術後疼痛管理関連

2023年 特定行為区分 追加

- ・感染に係る薬剤投与関連

2024年 特定行為区分 追加

- ・透析管理関連

2025年 特定行為区分追加 予定

- ・栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連
- ・栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連

- 本学研修機関の修了者：8名

中央手術部

4名

救急医療センター

1名

集中治療センター

2名

消化器外科病棟

1名

- 他研修機関の修了者(主にB課程認定看護看護師)：7名

外来

3名

一般病棟

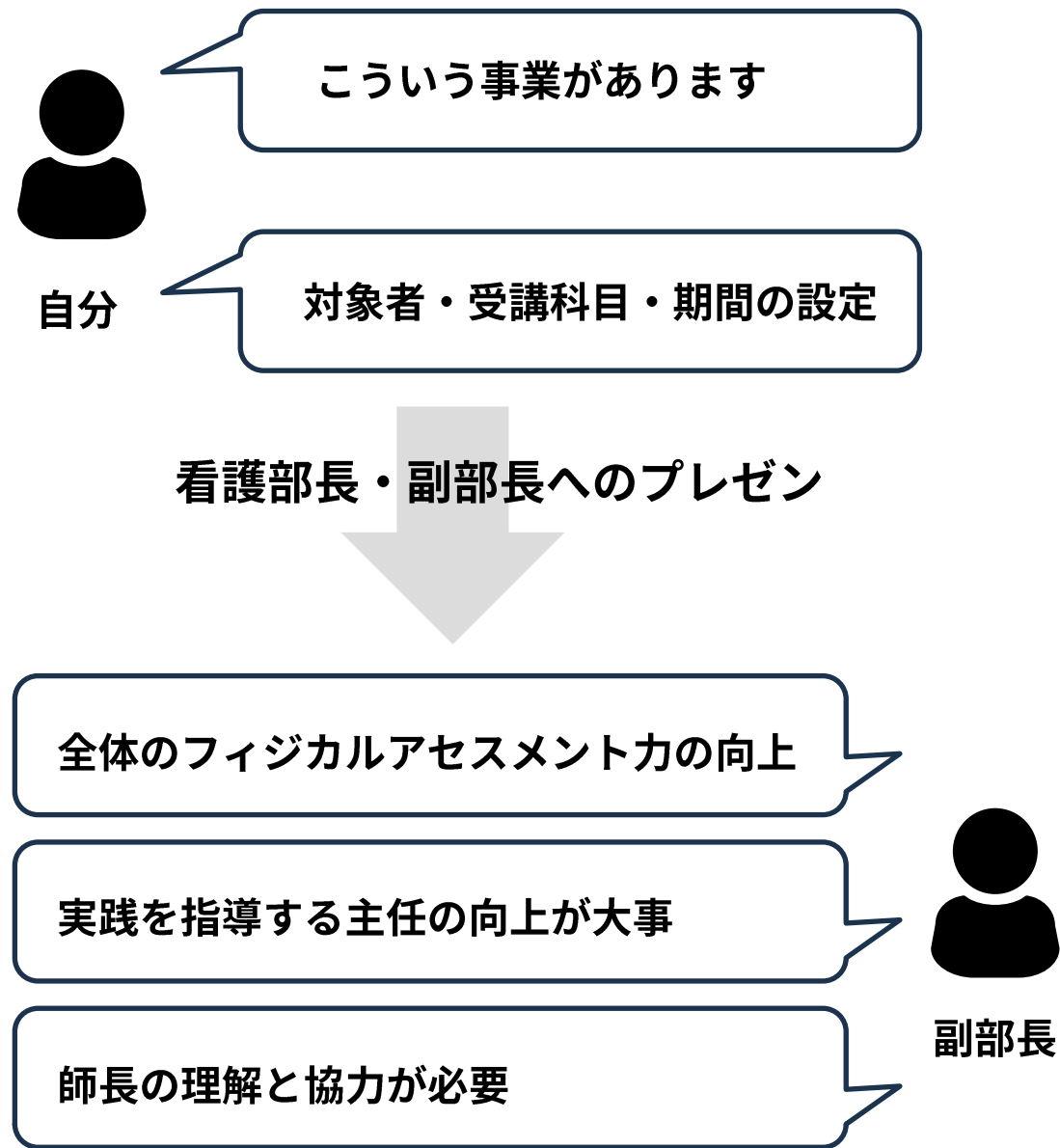
3名

専従

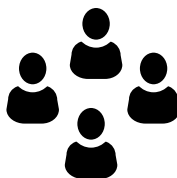
1名

組織定着化支援事業の参加①

参加から実施までの過程



1. 組織定着化支援事業について説明
2. グループワーク
- テーマ「e-learningが継続できる進め方」



部長・副部長・師長
5～6名/1グループ×6グループ

グループワークでの主な意見

- ・ 時間内の研修としたほうがいいのではないか
- ・ クリニカルラダー申請の要件に組み込んではどうか
- ・ 科目は「フィジカルアセスメント」「臨床推論」「病態生理」

対象	卒後4年目以上	主任看護師
科目	フィジカルアセスメント	
必須項目	①基本:身体診察基本手技 (1時間) ②全身状態とバイタルサイン (45分)	e-learnig 全ての項目 (17.5時間)
時間内 研修の 扱い	4時間 (4時間以上の場合は自己研鑽)	17.5時間全て
ラダー	全ての項目を受講した場合は、院外研修の受講の1つとして提出が可能 その場合、小テストまで全て受講すること 小テストは全問正解するまで実施すること	
病棟 学習会	1つのIDで複数名の受講も可能 その場合、受講者を申請すること	

師長会への提案

組織定着化支援事業の参加②

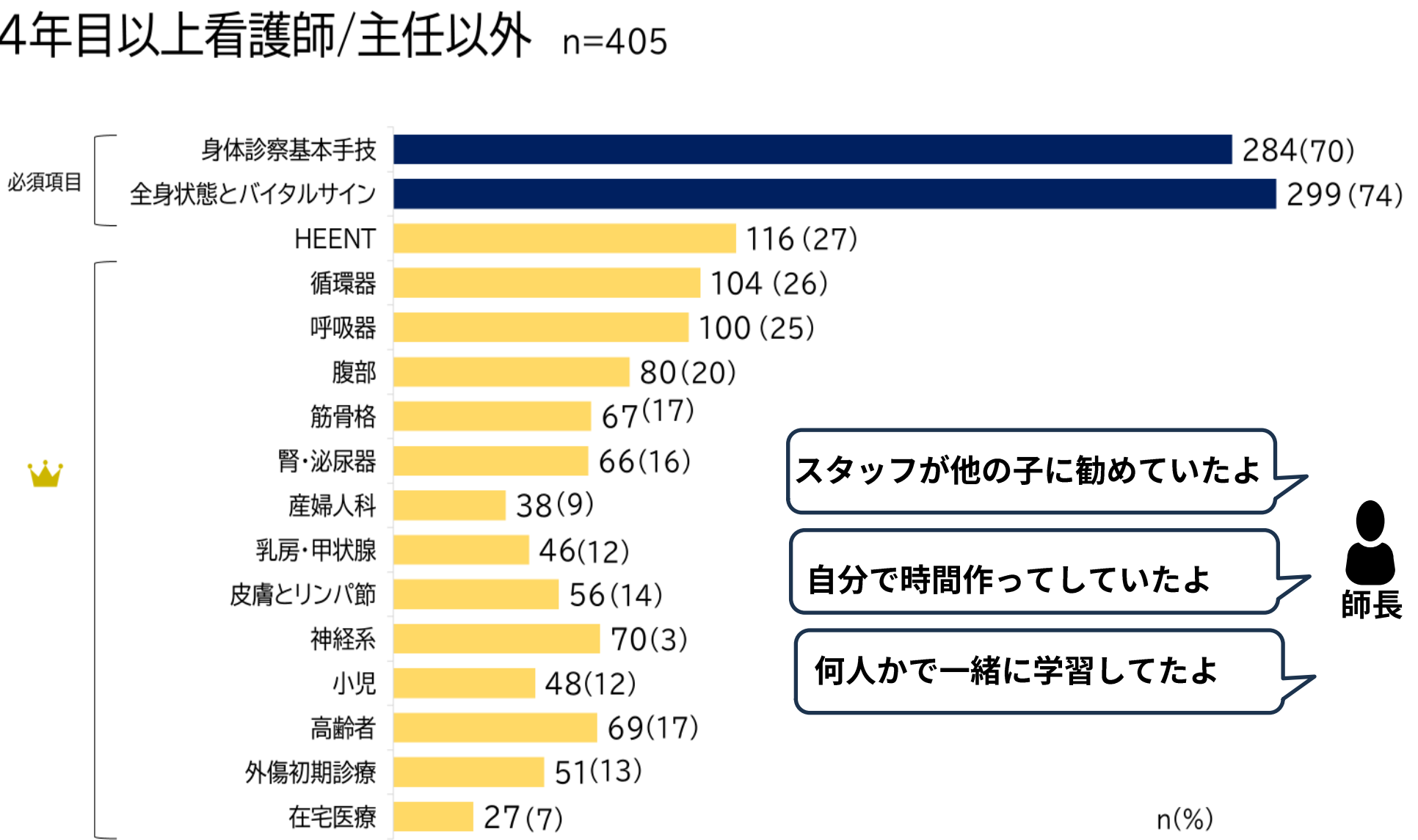
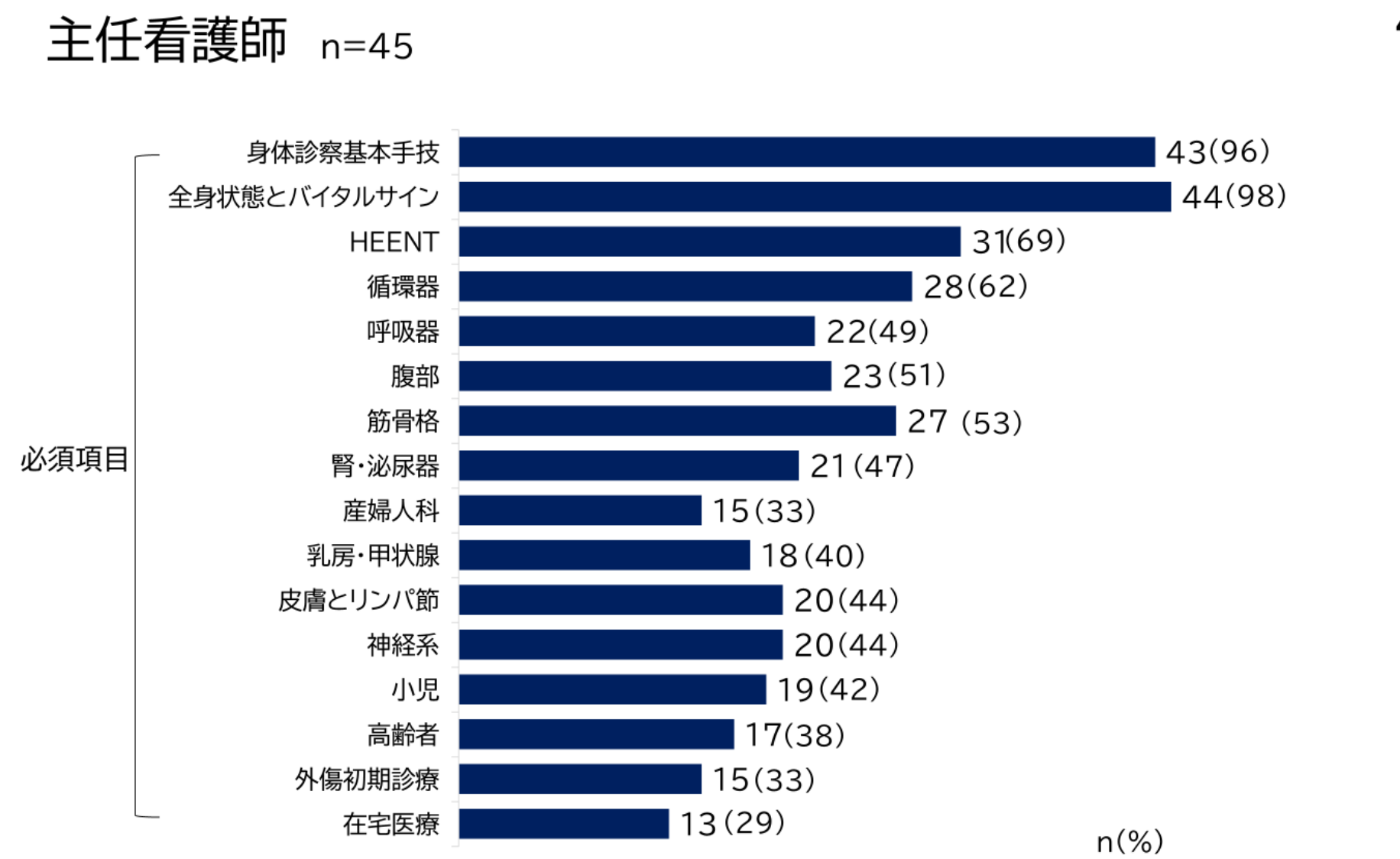
対象人数と実施状況(2025.1現在)

対象	主任看護師	4年目以上看護師(主任以外)
人数	45	405

当該年度に初めて本事業を開始する者(事業開始1年目)
看護師の2%が共通科目のうちいずれか1科目(演習・実習は除外)の受講を当該年度末までに終了すること。 =約10名

👑 全項目修了者:27名(うち主任看護師8名)

[e-learning フィジカルアセスメント項目別進捗状況]



今後の特定行為研修受講計画

- e-learning受講者の科目ごとの免除規定
3年間の有効期間
- 年間計画

術中麻酔管理領域

2名

区分選択

2名

手術室、ICU、外科系病棟での実践

特定行為研修推進委員会・メンターの配置

特定行為研修推進委員会	
キャリア支援センター	センター長、科目責任者
キャリア支援センター	副センター長
キャリア支援センター	課長
キャリア支援センター	看護師
科目責任者	
医療安全管理室	課長
看護副部長	
事務部 病院管理課	課長

メンター	
キャリア支援センター	センター長、科目責任者
キャリア支援センター	副センター長
キャリア支援センター	課長
キャリア支援センター	看護師
科目責任者	
特定行為研修修了生	

研修者に対する支援が主になっている
・授業、実習のサポート

- (ア) 特定行為研修修了者の配置・活用の構想に関すること

(イ) 組織内共通の手順書の作成・見直しに関すること

(ウ) 安全な特定行為の実施に関すること

(エ) その他特定行為の実践に関すること

課題

特定行為修了者の実績

中央手術部
4名

1～2回/週の手術で特定行為を実施

- ・ 直接動脈穿刺法による採血
- ・ 橈骨動脈ラインの確保
- ・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更
- ・ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
- ・ 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整

救急医療センター
1名

初療時、RRS起動時

- ・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更
- ・ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
- ・ 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整

ICU・一般病棟・外来
10名

- ・ 皮膚・排泄ケア認定看護師：実施している
- ・ 2024年～ICU・一般病棟所属の特定行為修了者
0～1件/月
理由：実施する機会、対象者がいない
手順書が確立できていない
医師・スタッフに周知できていない

システム・実施
確立できている

課題

自分たちで仕事を開拓していくには？

専門看護師

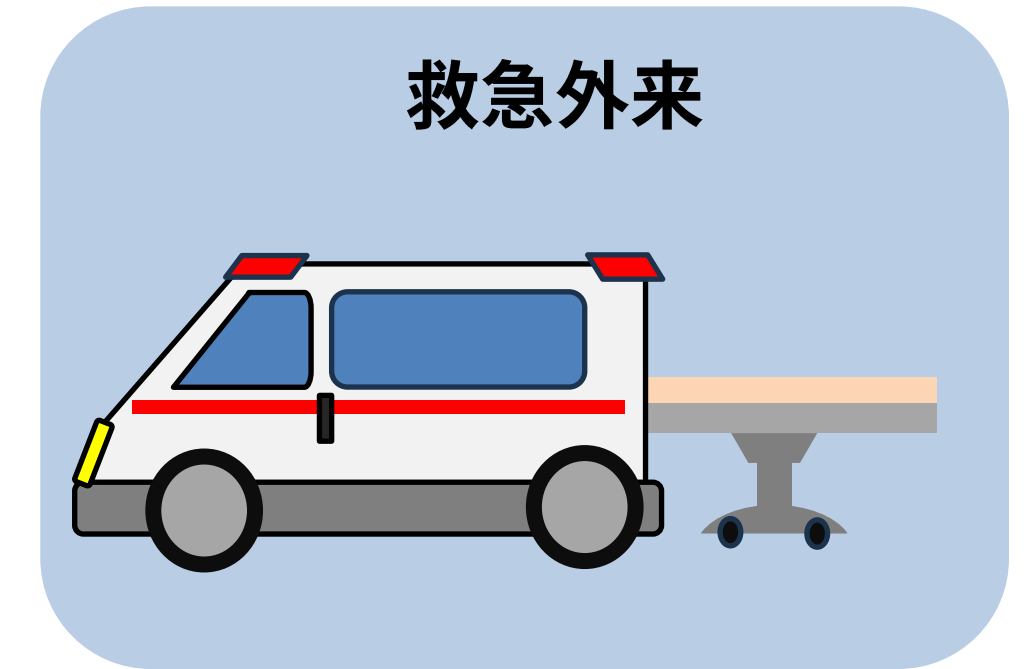
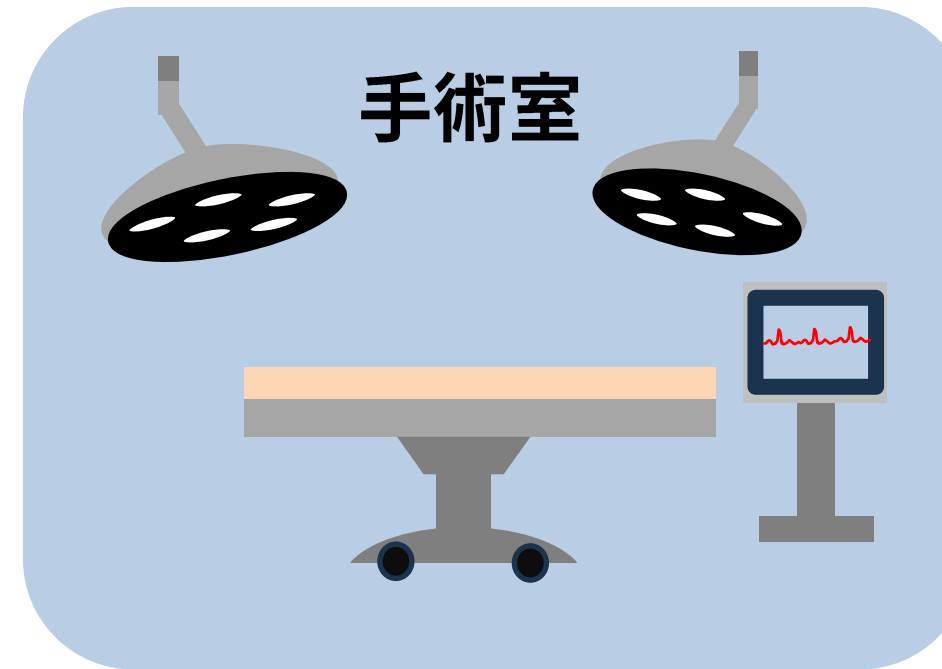
認定看護師

実践
相談
調整
倫理調整
教育
研究

実践
指導
相談



集中ケア認定看護師



特定行為研修修了者

誰に相談する？

ICU・一般病棟

どうやって進める？

自分でするの？



自分が何者かをまず知ってもらうこと

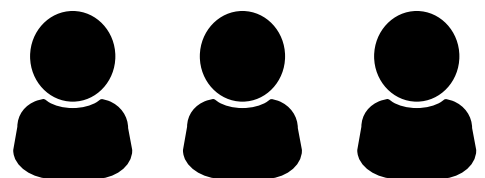
リソースとして活用してもらうこと

専門・認定看護師

授業等で考える機会、仲間と交流する機会が多い

授業の工夫①

講師



開拓者たち

- ・ 特定行為修了者＋認定看護師 3名(院外講師)

演習

- ・ 手順書の作成・評価・改良
- ・ インフォームドコンセント
- ・ 医療安全学・特定行為実践
- ・ プレゼンテーション
- ・ 特定行為研修の振り返りとこれからの実践！

講師による特定行為実践の紹介



講師 Aさん

私の組織横断的活動



講師 Bさん

卓越した実践



講師 Cさん

先を見据えた特定行為の実現

金沢医科大学病院看護師特定行為研修

横断的に動けるか否かは自分次第

活動フィールドは自分で開拓

自分を知ってもらうアピール＝認識してもらう

- 特定看護師であること（特定看護師とは？ できること、できないこと）
- 味方であること（看護単位や部署の特性、障壁に理解を示す）
- 時間の使い方を工夫

成功体験を演出＝患者がよくなる

患者が良くなる

＝医師・看護師・多職種から支持・信頼が得られる

成功体験や活動について院内看護研究発表会などで発表

「支持と信頼は指示につながる」

横断的に活動するには？

- ▶ 他部署でどう活動する？
- ▶ 対象患者はどこに居る？
- ▶ Drから指示をもらうためには？
- ▶ 自分のこと知ってるかな？

授業の工夫②

自分たちの高度実践を考える

特定行為を実施したかどうかに関わってしまうことがないように…

発表テーマ【共通科目での学びを実践に活かした例】

事例 1

夜間ベッドから転落した患者

Before:転倒後の身体状態を確認し医師へ報告

After:転倒の原因から予測される疾患まで考慮

脱水を疑い、補液することを医師へ相談

事例 2

薬剤の疑義照会

縦隔腫瘍摘出予定の患者

患者の術前訪問時、手の脱力感の症状あり

重症筋無力症の診断はない

術後のPCAにアタラックス[®]RPのオーダーあり

麻酔科医師へ相談し使用を中止

事例 3

腰痛の鑑別

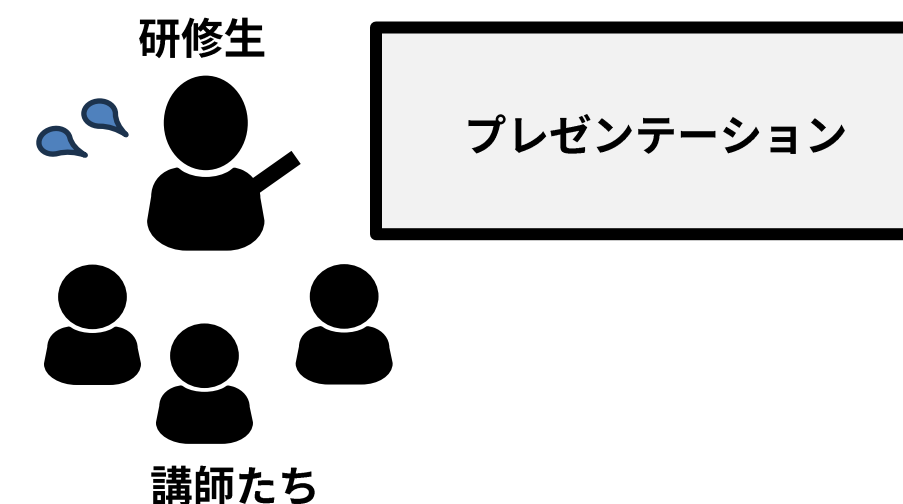
夜間に腰痛の出現あり救急搬送された患者

整形外科医からは急性腰痛症の診断あり

鑑別するため、左右上腕での血圧測定し

左右差を認め医師へ報告

CT検査し大動脈解離の診断となり転院搬送



サブテーマ【伝わるプレゼンテーションを考える】

特定行為修了生の活動を支援

活動の支援→課題 できる範囲での支援を実施

全医療職 必見！

特定看護師の多様な実践
広がる活動の可能性

特定行為研修修了から現在までの活動

新たな活動領域の拡大

講師：
山下 祐貴

公立甲賀病院 麻酔科 科長補佐

2025年2月22日(土)

14:00～15:00

参加費無料

【講師プロフィール】

2017年 看護師特定行為研修修了（21区分38行為）
2018年～2023年 滋賀医科大学 麻酔科講座 特定看護師
2024年～現在 公立甲賀病院 麻酔科 科長補佐、入院時重症患者対応メディエーター（兼任）

資格
日本看護系大学協議会：ナースプラクティショナー（JANPU-NP）
日本NP教育大学院協議会：診療看護師（NP）

対象者：特定行為研修修了者、特定行為に関心のある方

会場：金沢医科大学病院 中央棟3階 中会議室3
（会場 & ZOOM配信のハイブリッド開催）

参加申込は右記QRコードから

締め切り2/18まで

お問合せ：金沢医科大学病院 キャリア支援センター 特定行為研修部門
担当：北山、濱江
Tel: 076-286-3511
Email: tokutei@kanazawa-med.ac.jp

北陸エコーアセスメントセミナー

「看護の未来を変える」
～エコーを用いたアセスメント技術～

講師

小淵 岳恒 先生

福井大学医学部附属病院 救急部・総合診療部 講師

日時

2024年10月19日(土) 13:00～15:30

(第1部：13:00～13:45 第2部：14:00～15:30)

内容

第1部

エコーアセスメントについて考える
近年、超音波は看護部にとっても極めて身近なものになりつつあります。看護師が患者さんのアセスメントを行う際には、問診、身体所見、バイタルサインを用いての評価に加え、エコーをベッドサイドにて行うことで、アセスメントの補助的な役割を果たして頂けます。WEB形式にてエコーアセスメントの役割や特徴等わかりやすく説明して頂きます。

第2部

ハンズオンで実践してみよう
第2部では、「膀胱内容量の計測」、「下大静脈の計測と脱水の評価」等をハンズオン形式で実施します。エコーに触れて、実際に計測して、自分のささるレベルアップを目指してみませんか？エコーのあて方から測定のポイント等、実際に試してエコーアセスメントで臨床で活用できることを目指しましょう。

お申込みは右記QRコードから

●定員：WEB講演 100名(zoomの上限まで)、ハンズオン 30名

●参加費：無料

●会場：金沢医科大学 シミュレーションセンター
石川県河北部内灘町大学1-1

●問合せ：金沢医科大学病院 キャリア支援センター 北山
TEL: 076-286-3511

主催：金沢医科大学病院 キャリア支援センター
共催：日本光電工業株式会社

金沢医科大学病院 キャリア支援センター主催

特定行為研修修了者
フォローアップ研修

2024年12月10日(火)

15:00～17:00

講師 土谷 武嗣 教授

(心血管カテーテル治療学講座)

対象：特定行為研修修了者（動脈血液ガス分析関連）

内容：直接動脈穿刺法による採血、橈骨動脈ラインの確保の手法

定員：10名（先着順）

場所：医学教育棟5階 クリニカルシュミレーションセンター

特定行為を行うための技術や知識を研修で学んだにもかかわらず、臨床で使う機会が少なく、自分の技術が次第に薄れていくのではないかと不安を抱いていませんか？
穿刺のプロからご指導いただきます！
再学習の機会になれば嬉しいです。

参加ご希望の方は右記QRコードから
お申し込み下さい（締め切り11/5）

お問合せ キャリア支援センター 特定行為研修部門
内線26560 Email: tokutei@kanazawa-med.ac.jp

イブニング交流会

特定行為研修生が語る！
研修での学びとその実践

2024年12月24日(火)

18:00～19:30

知識の活かし方・
仕事と学びを両立させるコツについて語る！

話し手：花野 裕生（金沢医科大学病院）
田下 美香（金沢医科大学病院）
長尾 奈美（金沢医科大学病院）
森 雅成（南ヶ丘病院）
町野 直樹（高岡市民病院）

対象：特定行為研修に興味のある方

定員：10名（先着順） ケーキ付

会場：金沢医科大学病院 中央棟3階 中会議室2

申込：右記QRコードからお申し込み下さい
（申込期限12/6）

お問合せ：金沢医科大学病院 キャリア支援センター（特定行為研修部門）
Mail: tokutei@kanazawa-med.ac.jp
Tel: 076-286-3511（代表）

活動のヒントになるように

よりの確なアセスメントのために

技術の向上、維持のために

次の特定行為研修生の育成のために

組織的かつ継続的な特定行為の受講と修了者の活動を推進する取り組み

ご清聴ありがとうございました
